

NPO 法人 やまぼうし自然学校 ニュースレター

2016 年度 夏号（7 月 1 日発行）

きのう、今日、あした。自然とともに生きる暮らし方を見つめていきます。



『草むらでお昼寝』

4 月 29 日（長野校）

*** 代表理事のひとりごと ***



加々美貴代（がみちゃん）

「コンクリートジャングルで育った僕にはここの環境は耐えられない」プログラムを終えると同時に、ひとりの男子生徒が駆け寄ってきました。高校 1 年の彼からの言葉に衝撃を受けました。「何が耐えられないのか」聞いてみると、「東京は豊かで、何でもある」という答えが返ってきました。「豊さって何」と再度問いかけてみましたが、答えは直ぐに返って来なかった。「豊さの基準は何か」と質問を変えてみました。「物」「自然」「環境」などしばらくのやりとりの後、彼から「虫や森は好きではないけれど、朝の森には行ってみたいと思った。動物に会ってみたい。朝の方が会えるでしょう？」と。誰かの常識は、別の誰かにとっては未知との遭遇で、無理に押し付けるのではなく、「新たな価値の気づき」を伝えることが自然体験活動はできると再認識した一コマでした。

ーわたしたちは春夏秋冬、長野本校と埼玉校・東京校で活動していますー

スタッフよりひとこと



保母 裕美（ほぼちゃん）

この夏、中学 1 年の娘は学校登山で根子岳に登り、翌日午前中かご編みをする
ことになり、地域の学校がやまぼうしプログラムを体験します。学校の目的は
地域の山に親しむ。それは 5 年生でやり遂げているのに。母としては信州の中
学生にはアルプスを体験してほしいな...



古川 明美（けみちゃん）

私達の仕事は自然と関わる仕事だけではなく、自然を手段の一つとして人と関
わる仕事なのだと、改めて思う。だからこそ私自身が、自分も周りも肯定
できる人でありたいと思う。



古川 誠（じゃが）

父ちゃんになって、父ちゃんと子供のキャンプを企画して実施した。少人数の
実施となってしまったが、父ちゃん同志のかかわりは新鮮で、なぜか仕事や生
き方の話になっていくのが、父ちゃんキャンプらしいと思った。続けていいイ
ベントにしていきたい。



佐藤 美央（みろりん）

最近、人に応援してもらおう機会がふえました。少し見方を変えると、「人に
応援してもらおうことを受け入れられるようになりました。」まだまだ伸びしろい
っぱい♪



小菅 彩（こあちゃん）

山菜の茹で汁や桜の花びら、タンポポ、笹などいろんな物で草木染をしてみま
した。媒染で同じ材料でも違う色に染まったり、想像とは違う意外な色に染ま
ることも。実験をしているようで楽しいです。自然のやさしい色を感じました。



平林 丈嗣（だんしゃく）

やまぼうし自然学校に勤め始めた時は明るかった通勤時の車道、新芽が出てき
て葉っぱが広がり、日増しに暗くなってきました。それに反して日差しはどん
どん強くなり、車道の木々は丁度よい日よけになってくれています。そんな
木々のように私を助け、色々教えて下さる皆さんに少しでも恩返しができるよ
うに、今は教えてもらった事を一つ一つしっかりとできるようにしたい!! そ
のためにも日々精進です。



石川 順子（じゅんこさん）

2 月にプレゼントされた可憐な薔薇の鉢植え。どうやら「四季咲き」の様相で、
指南書片手に奮闘中。園芸にはほんとと疎いんだけど、小さな蕾を発見するのが
楽しみなこの頃である。



仲川 好乃（よっちゃん）

下見に行った山道で、足元に直径 3 センチ位のまん丸で茶色いふわふわした物
が転がるように動いているのを発見。覗き込んでも逃げる様子もなくなんと
可愛いくさ。ひめズミの子どもでしょうか。茶色のまりもの様でした。



太田 明子（すけちゃん）

人生初の出産が迫ってきました。この世に来ると決めた赤ちゃんを精一杯応援
する気持ちであとひと月、そしてその日を楽しみに・・・そう思いながらドキ
ドキそわそわな毎日です。

発行：特定非営利活動法人 やまぼうし自然学校

住所：〒386-2204 長野県上田市菅平高原 1223-5751

TEL：0268-74-2735 FAX：0268-74-2795

Email：info@yamaboushi.org

URL：http://yamaboushi.org

初めての里山親子キャンプ！

(4月30日～5月1日 東御市島川原・芸術むらキャンプ場)

これからキャンプをしてみたいという家族と一緒に、合わせて里山の自然も楽しもう！という企画。

昨年の春に始まって、今回が3回目です。

御牧ヶ原台地の開けた眺望、ハヶ岳方面よりの用水から田んぼに水が入り、カエルが鳴き始め、若葉が萌えるとってもやわらかい季節。2回目から企画にご参加いただいている地元在住「名もない農家」廣田かあさんと、御牧ヶ原の春を満喫する2日間。



1日目は、かあさんのフィールド「千本桜の丘」までお弁当を持って散歩しました。花盛りの丘の上はどうなっているのか？探検隊も結成されて、急斜面のけもの道を登ってみたりもしました。お弁当を食べながら、午後のおやつ作りの材料、タンポポ、ヨモギ、桜の若葉を摘みました。芸術むらキャンプ場へ移動し、テントを建て、おやつを作り（イチゴ入り桜餅）、夕食作りをし、隣接の温泉に入ってさっぱりした後、テント泊チームとコテージ泊チームに分かれておやすみなさい～

2日目は早朝より、かあさんの案内で用水めぐりのお散歩に。田んぼに水を入れるための用水は、地域ごとに枝分かれのポイントがあってみんなで譲り合って使うことを教えてもらいました。たっぷり歩いておなかをすかせて、朝食は炭火で焼いたホットサンドとコンスープ。ゆっくり過ごした後はテントとシュラフを干しながら、桜の枝でバードコールを作りました。お昼ご飯は、参加者お母さんたちとの相談で残りの食材を工夫して竹の子の焼きおにぎりとスープ、かあさん差し入れの大粒イチゴを添えて春色ランチ。

キャンプをしようとなると、テントやコンロや揃えるものがたくさんで、準備するだけで嫌になってしまいがちですが、普段の生活にある日用品をうまく利用し、キャンプ場の施設もできる限り活用すれば、案外気軽にキャンプができる！と参加者の皆さんに楽しんでいただけたようです。秋にもまたご参加ください！

文・保母 裕美



炭焼き

やまぼうし自然学校では、木炭を自前の炭窯で作り、林間学校等のプログラムに使用しています。今、炭はホームセンターで買ってくれば安く簡単に手に入ります。

炭焼きを行って炭を作るとなれば、まず炭にする木を集めるところからスタートです。木を伐り、炭窯に入る大きさにそろえ、炭窯に建込みます。そしてそこから4日間火を焚きながら、炭を焼き上げていきます。

文字で書き出してみると、たったの3文の工程ですが、作業としてはかなりの労力が必要になります。ですが、その手間暇をかけて作り上げることに意義があると思っています。

やまぼうし自然学校の理念は、「森とつながり、森とともに生きることのできる人を育てる」です。炭焼きは、これまで人が森とつながり森と生きてきた技術の結晶のようなものだなと感じます。

木を伐ってきて、薪を使って火を焚き、炭ができあがる。灰を畑にもまけるし、炭自体さまざまなことに使えます。自然の循環の中で、エネルギーを作り出すことができるということは、森とつながり、森とともに生きる糧となるのではないのでしょうか。

そして、炭焼きをしている時、朝早くから夜遅くまで窯の近くで温度や様子を確認します。朝は太陽が出る朝焼けを全身に浴びながら、夜は満点の星空を見あげながらの温度チェックをします。そうした中で、自然の恩恵である炭ができあがるので、自然の中で生かされているなあと感じます。炭の質としては、まだまだ素人の炭焼きレベルですが、手間暇をかけて炭を作り、それをプログラムで使用できていることは、参加者につながりと説得力を持って、感じてもらえるのではないのでしょうか。

春と秋に毎年、炭焼きを行っています。興味のあるかたはぜひ、一度一緒に炭焼きを体験してみませんか。

文・古川 誠



賛助会員レポート

やまぼうしには陰で支えてくださっている賛助会員さんがたくさんいます。
そんな賛助会員さんの近況や、やまぼうしへの思いをお聞きました。

『やまぼうし自然学校』との出会い

小泉 秀樹

私と「やまぼうし自然学校」との出会いは
2002年の森林インストラクター受験講座
でした。以前からボーイスカウト活動に参
加していた私は、もっと自然の中での活動の
知識をつけて子供たちに接したいと思い受験
を決意しました。
毎回仕事が終わってから数時間高速を走って
参加するのが楽しみでした。
数年で資格は合格し、地域のインストラクター
活動にも参加しています。
ただ最近では仕事も忙しく活動が中々出来ません
がスカウトの子供たちとの活動は出来るだけ参加
をしています。やまぼうし自然学校の豊富な内容の講義、及び野外での体験、交流など
スタッフの皆さんの熱心な活動が私の原点になっており大変感謝しております。
今後も微力ながら少しでも応援させていただければと思っております。



高校生と東京の雲取山観祭登山



2002年「土壌」の講座の様子

小泉さんが受講されていた当時は、受講生
101名の人気講座でした。
県外からも24名の方が、全20回の講座を
楽しみにやって来てくださいました。
森林インストラクターの資格取得が1番の目
的ですが、お酒を飲みながらの仲間との交流
が良かったようです。
この時の受講生同士で、自然学校を立ち上げ
た方もいらっしゃいます。
講座修了後もインタープリター会員として
今でもご活躍いただいている方も多数いら
っしゃいます。これからも、そんな場の提供
を続けていきたいと考えています。

文・加々美 貴代

黒斑山火山研修

黒斑山火山研修（リスクマネジメント臨時研修）

平成28年4月23日

浅間山は、日本の代表的な活火山の一つですが、4月23日には、その第一外輪
山である黒斑山へ、やまぼうし自然学校インタープリター12名が参加し、研修登
山を行いました。

当日は、絶好の登山日和になり、
「環水平アーク」や「幻日環」などの
天空ショーは素晴らしいプレゼントでした！
また、黒斑山山頂からは、噴煙（水蒸気）を
上げる雄大な浅間山を望み、生きている
地球を体感できたと思います。



烏帽子・浅間火山群は、約百万年前から烏子
岳を起点として活動が始まり、湯ノ丸山・
東籠ノ登山・高峰山など順次火山が誕生して
来ました。

黒斑山は、約10万年前から活動を始め、
最高2千8百メートルほどの山頂を形成した
と想定されていますが、約2万6千年前に
大きく山体崩壊し、現在活動している浅間山

は、そのあと約1万年前に活動を始めました。火山は、おおむね1万年前以内に
噴火した記録のあるものを定義しており、全国で110の火山が選定されていま
すが、浅間山は全国的にもトップクラスの火山観測体制が整備されており、噴火
予知も徹底されています。

現在は、火口周辺警戒（噴火警戒レベル2、火口周辺2キロ以内が入山規制）
になっていますので、気象庁の情報などをよく確認し、安全に楽しく登山したい
ですね。

根子岳や四阿山も数十万年前の火山ですが、今回は火山の構造や観測体制・噴
火予知などを学ぶために良い機会となりました。

文・長岡 賢司



週末♪里山のうぎょうクラブ

4月29日ウキウキ春編

身近な自然にゆっくりと触れて欲しくて、のんびりと風と空気を感じて欲しくて、土をいじる楽しさ、大地を感じる心地よさを知って欲しくて、長野のいいところを知って欲しくて、美味しいものをみんなで作って食べたくて、欲張りな欲求を満たしたくて始めたのうぎょうクラブ。第1回目は野菜の苗植えと、里山探検をしました。



ナスやキュウリ、トマトなど夏野菜を中心に、農場のお兄さんに教えてもらいながら植えました。里山探検では近くの蚕影山（こかげさん）に行きました。子どもたちは柵を見て、イノシシが出てこないか、恐る恐る登っていきました。あっという間の1日でした。次回は7月9日夏編です！野菜の収穫と、里山探検です。おいしいご飯も作って一緒に食べましょう。

文・加々美 貴代



体験学習レポート

2016年 4・5・6月の体験学習

数年前までは、7月20日～の超・超・超繁忙期を迎えていたやまぼうし自然学校。ここ数年、5月の林間学校が増え、今年も賑やかな初夏をたくさんの子供達と過ごしました。

4月 1校 155名
5月 18校 約2169名
6月 22校 約2494名

森遊び、山菜採り、ネイチャートレイル、根子岳登山、クラフト作り、青竹クーヘン、ピザ作り、チャレンジワークショップ、水棲生物、土壌調査、樹木博士、ハイキング、ティピー造り、燻製づくり・・・

たくさんの笑顔や発見、驚きに出会いました。今年初めての学校も多く増え、新しい出会いが楽しい春でもありました。

また7月にも28校の小・中・高校生がやってきます。菅平高原の自然と、楽しいインタープリターのお話し。素敵な思い出作りのお手伝いができることを楽しみにしています♪

文・佐藤 美央



これは何でしょう??



トートバック・・・



なんの花??



【長野校】森でモリモリ遊び隊

2016年度の森でモリモリ遊び隊も始まりました。
今年は、申込みに際し、あっという間に定員に達してやむをえずお断りした方もいらっしゃいます。森でモリモリ遊び隊への参加希望も多くなってきていて、年々自然体験活動に対する要望の高まりを感じます。

大切にしていることは、「自分でやってみる」こと。自ら考えて、自ら動いてみる
こと。自らやってみて、失敗成功を繰り返し、それが隊員の経験となっていく
ほしいと思います。今年も、1年間みんなでモリモリ遊び、自分たちの遊び隊を
作っていきましょう！

5月23・24日 第1回遊び隊はじめの会♪



一年間使う
ネームバッジを作ります



みんなで自己紹介！



これから何度もやる
火おこしロ座

6月11、12日 第2回竹林であそぼう！



自分たちで竹を伐採！



竹で何が作れるかな？



青竹クーヘンも作りました

文・古川 誠

【埼玉校】フォレストキッズ



アイスブレイクゲーム

5月14日 第一回目フォレストキッズ、
はじめましてのゲームでは最初はもじもじ・・・
ゲームが終わってみればみんな笑顔



目隠してどこまでも



何を見つけたのかな？



三角点にタ〜ッチ！

6月11日 多峯主山登山 街中は気温30℃この
時期にしては気温が高くて子どもたちも森の中の過
ごしやすさに気づきました



難所の鎖場一步一步慎重に



これな〜に？興味津々！！

文・仲川 好乃

教員の嫁・よそ者暮らし～新潟市編～

「妊婦ママと子育てママが自分に捧げる人生ミッション物語」と題してブログを書き始めました。

<http://ameblo.jp/happy-life-leadership/>

来春から、新潟市のど真ん中で、「こどもの自然あそび」と「ママの人生ミッションづくり」を始めようと思ひ、いろいろと発信していきたいと思っています。

6月5日「白根大風合戦」。中の口川の両岸から風を揚げ、絡ませ落として引っ張り合い、切れたひもの長さで勝敗決定。水上のバッチーン！の音が迫力満点です。

文・太田 明子



これは何でしょう答え



A. 八重桜の花びらや桜の枝で染めた
トートバック

左上：花びらミョウバン媒染 右上：桜の枝銅媒染
左下：花びら鉄媒染 右下：花びら銅媒染

4色染まりました！



B. トチの花

たくさんの花をつけています
秋はいっぱい実るかな？

首都圏活動レポート

春のキッズフェスタ

体験の風をおこそう運動推進委員会主催による第5回春のキッズフェスタが、初夏の暑さを感じつつ、5月21日に東京都渋谷区の国立オリンピック記念青少年総合センターにて開催されました。東京校はCONE（自然体験活動推進協議会）より委託を受け、受付1名インストラクター2名でプログラム提供をしました。



やまぼうし自然学校が担当した「丸太切り」体験コーナーには子育て世代の親子連れが次々と訪れ、子どもさん達に手ノコギリを使った丸太切り体験をして貰いました。体験者の年齢は幼児、園児、小学生低学年～高学年と各年齢層にわたり盛況でした。



用意した丸太の樹種は、ミズキ、シラカシ、ヒノキで、直径5cm～10cm位の物のうち、自分が切ってみたい丸太を選んで貰い、厚さ1cm位の輪切りにする事を行いました。腕力が弱い小さな子には、インストラクターと一緒にノコギリを持って力を貸してあげ、一人で出来る子は自分一人だけの力で最後まで頑張って、輪切りにする事が出来ました。やまぼうし特製みずきちゃんイラスト付き輪切りキーホルダーと自分が切った輪切りをお土産に貰って、次の体験コーナーを目指しました。

文・岩岡 義雄
撮影・木下 瑞実

夏のキャンプが始まる！！

サマーキャンプin信州in菅平高原

「森から始まるはじめのいっぽ！！」～自らの発見を歩む力に～

日の出・星空・テントプラン 4日間でテント1泊・ペンション2泊

■日程

①7/25～7/28 ②7/28～7/31 ③7/31～8/3④8/3～8/6
⑤8/6～8/9 ⑥8/9～8/12⑦8/15～8/18 ⑧8/18～8/21
⑨8/21～8/24

■集合場所：新宿駅または現地集合

■参加費：55,100円（新宿集合）

※現地集合は41,500円

■対象：小学生

■定員：40名

■最少催行人数：20名

■サマーキャンプin信州特設HPは

「2016サマーキャンプin信州」で検索！！



やまぼうし原人キャンプ

原人になりきり、生活を自ら作り出し、自然を身近に感じる

3泊4日ですべてテント泊！

ひと夏に1コース限りの特別プランです！！

■日程8月10日（水）～8/13（土）

■集合場所：東京駅または現地集合
（交通費・往復7,000円～8,000円別途）

■対象：小・中学生

■参加費：35,000円

■定員：30名

■申込はやまぼうし自然学校へ



主催イベント情報

週末♪里山のうぎょうクラブ

おいしいものを、自分の手で作ってみませんか？

日時 春編4月29日（金・祝）夏編7月9日（土）
秋編10月29日（土）冬編2月
対象 お一人様、親子
参加費 親子1組¥3,500/回、1年一括¥13,000、家族1名追加¥1,000
お一人様¥2,500/回、1年一括¥9,000
定員 10組20名
会場 すくだせ農場 長野県上田市富士見山3232

海キャンプ～山の子たちの海を知ろう！キャンプ～

海なし県の長野の子どもたち！海へ行こう！
海の楽しさを味わい尽くそう！

日時 10月8～10日（2泊3日）
対象 長野県在住の小・中学生
参加費 1名¥23,000 ※子どもゆめ基金助成活動
集合 上田城跡公園駐車場



だれでも、デイキャンプ♪～成長がゆっくりの子どもと親～

森で、草原で、のんびりとした時間を過ごしませんか？

小川のせせらぎ、樹々のざわめき、小鳥のさえずりに耳をすましてのんびりと。

日時 9月19日（月・祝）
対象 成長がゆっくりの子どもと親
参加費 親子¥2,000 ※子どもゆめ基金助成活動
定員 親子10組
集合 やまぼうし自然学校事務所
会場 自然体験の森
※お申し込みの方に持ち物、
装備等の詳細ご案内をお送りします。



だれでも、デイキャンプ♪

～陽*朗キャンプ～子どもは太陽、シニアは朗らか

いろいろなひとと交わり、関わり、自然の中で身体と頭を使って元気いっぱい！

日時 9月24日（土）
対象 幼児・親・シニア
参加費 親子¥2,000、シニア¥2,000
定員 20名 ※子どもゆめ基金助成活動
集合 やまぼうし自然学校事務所
会場 自然体験の森



主催イベント情報

秋の森できのこ狩り&きのこ料理

夏から秋への移ろいを感じながらきのこ狩り。
昼食は採れたきのこを料理にし、秋のめぐみを満喫

日時 9月25日(日)
対象 一般・親子
参加費 大人¥2,000、小中学生¥1,000
定員 30名
集合 真田地域または菅平高原



松尾古城をめぐる 真田の郷トレッキング

幸村のふるさと信州真田の黄金色の紅葉を楽しみながら、
真田家ゆかりの地を歴史ガイドと一緒に散策します。

日時 11月5日(土) 9:30~
対象 一般
料金 1名¥2,000
定員 20名
会場 上田市真田長地域



4・5・6月の実施事業

当法人を利用いただき誠にありがとうございます。
今後も人と森をつなげる活動を広げていきます。

■体験学習

4月 中野区立中野中(4/27)

5月 和洋学園和洋九段女子中(5/9) 松本市立梓川中(5/13) 中央区立佃中(5/16・17) 武蔵野学園むさしの学園小(5/17・18) 武蔵野東学園武蔵野東小(5/17) 学芸大附属竹早中(5/17) 伊奈町立伊奈中(5/17・19・20) 大田区立徳持小(6/19) 日本女子大学附属豊明小(5/19) 伊那市立東部中(5/20) 安曇野市立穂高東中(5/25) 我孫子市立久寺家中(5/26~28) 流山市立常盤松中(5/26・27) 柏市立手賀中(5/30) 青山学院中(5/31~6/2) 柏市立柏第三中(5/31) 中野区立若宮小(5/31) 葛飾区立上平井中(5/31・6/1)

6月 我孫子市立湖北台中(6/1) 明治大学附属明治中(6/1~3) 流山市立北部中(6/1~3) 深谷市立岡部中(6/2・3) 我孫子市立白山中(6/2) 我孫子市立我孫子中(6/3・4) 郁文館夢学園高(6/3・4・6/14~6/16) 我孫子市立湖北中(6/5・7) 東京共育学園高(6/7) 葛飾区立中川中(6/8) 穎明館中(6/9) 葛飾区立青葉中(6/9) 葛飾区立大道中(6/13) 松戸市立病院附属看護専門学校(6/14・16) 日出中(6/15~6/17) 幕張本郷中(6/15) 葛飾区立奥戸中(6/16) 宝仙中(6/16) 大田区立入新井第二小(6/16) 葛飾区立四ツ木中(6/17) 葛飾区立双葉中夜間(6/27) 葛飾区立綾瀬中(6/29)

4・5・6月の実施事業

■講座

上高地ネイチャーガイド養成講座(4/3・10・27・5/14・15) 神奈川シニア公開講座(東京 4/5) 神奈川シニア大学入門コース(東京 4/12・26・5/10・24・6/7・28) 彩の国シニア大学入門コース(東京 4/13・20・5/11・25・6/1・15・29) 神奈川シニア専科コース(東京 5/12・18・6/9) 彩の国シニア大学専科コース(東京 4/27・5/18・6/8) 森を楽しむ講座森めぐりビギナー半期(東京 4/14・5/12・6/9) 森を楽しむ講座ビギナー通年(東京 4/28・5/20・26・6/23) 森を楽しむ講座森林インストラクター養成講座(東京 4/16・17・5/21・22・6/11・12) やまぼうしインタープリター養成講座(5/8・11) 神奈川シニア理事会(東京 5/23)

■遊び隊・フォレストキッズ・キャンプ

森でモリモリ遊び隊(5/21・22・6/11・12) フォレストキッズ(埼玉 5/14・6/11) 森あちよび(6/11) サマーキャンプ I N信州事前説明会(6/18・19)

■イベント

週末里山のうぎょうクラブ(4/29) はじめての親子キャンプ(4/30・5/1) 大人の炭焼きGW(5/6・8) 菅平親子キャンプ~父ちゃん子育てキャンプ~(5/28・29)

■委託・講師

黒川ネイチャーボランティア(東京 4/3・5/8・6/5) 御代田自主保育(4/5) abn ゴールデンフェスティバル(5/3・4) 上松屋旅館(5/3) 白樺台別荘交流会(5/4) 中部森林管理局平成28年度技術開発・普及支援研修(5/12) 上田市立塩田西小夢の森活動(5/12・6/9・6/23) 春のキッズフェスタ(東京 5/21) 中国自然学校職員研修(5/16) 休暇村乗鞍高原職員研修(5/25) ワンパク大学(5/25~27) 上田市立丸子北中コスモス大学(5/26・6/2・6/16) 小諸ミズオオバコ保全会議(5/29) 上田市野外活動リーダー養成講座(5/29・6/26) 全国植樹祭上小地区森林祭(6/5) 菅平コスモス会(6/8) 上田市立菅平小2年親子交流会(6/10) 企業同期会ジビエ料理(6/14) 東御市海善寺育成会(6/18) トラベルマスターズガイド(6/25) 東戸山小(東京 6/28) 菅平保育園(6/29)

■事務局(会議・出店・協力・参加)

スタッフ研修(3/31・4/1・5/20) 上高地ネイチャーガイド協議会(4/5・5/8・6/26) 神奈川シニア会議(東京 4/5・5/9) インタープリター研修(4/14・22・25・5/2・5/8) 真田三代の郷さくらウォーキング(4/17) 黒斑山火山研修(4/23) マイン活動(4/26・5/10・5/24・6/21) CONE 指導者委員会(4/26・5/30) 学習協合同会議(4/27) 太郎山トレイルランコースボランティア(5/3) 理事会(5/6) 菅平スポーツセラピー会議(5/6) 学習協報告会(5/10) 外遊びネットワーク会議(5/12・6/6・6/20) リスクマネジメントミーティング(5/16) 森林ボランティア・NPO 連携推進協議会実行員会(5/20) 別所線と走ろう(5/21) さくらさくライブ(5/22) アウトドアチャレンジ会議(東京 5/25・6/23) CONE 総会(5/27) 戸隠ふれあいの森笹刈りボランティア(5/29・6/11) 全国植樹祭(6/5) 菅平高原カントリーフェスティバル(6/5) 菅平スカイライントレイルラン(6/12) 高山蝶パトロール(6/15) 戸隠ふれあいの森植樹祭(6/19) 神奈川シニア彩の国シニア合同会議(東京 6/22) 根子岳・四阿山保全協議会総会(6/23) 根子岳って知ってる?(6/24) 森フェス(6/25・26) 学習協会議(6/28)